

次世代ベストスマール

新型ムーヴ誕生!

ドライバーがストレスなく運転できる、フラットな乗り心地とスムーズな加速。さらには安全性能の強化で、いざという時にも心強い。

長時間運転でも疲れず安全な運転ができる!

D's Technology

D monocoque+
D Suspension+
D Assist



最近背の高い軽自動車の品ぞろえが充実して、ダイハツではタント、新型のウェイクも加えた。こうした空間効率の優れた軽自動車の中心に位置するのがムーヴだ。初代ムーヴは1995年に発売され、それ以来、好調に売れてきた。先代型は、軽自動車ではいち早く衝突の回避を支援する「スマートアシスト」を採用。ほかのメーカーも追従した経緯がある。燃費性能も常にトップクラスを守ってきた。軽自動車は大量に売られるため、安全装備が充実したり、環境性能が向上すれば、社会全体に与えるメリットも大きい。ムーヴはそこを捉えて進化を続ける。そしていよいよ、改めてフルモデルチェンジを実施。ボディ剛性を高め、クルマの基本性能になる走りや乗り心地を高めた。エンジンやCVTに改善を加えて、燃費も向上させている。安全装備では、後方に向けた衝突回避の支援機能を設定した。そしてカスタムには、新しい上級の「ハイパー」グレードが登場。小型＆普通車から代替えるユーザーも、高い満足感が得られる。



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京 (03) 5777-2351 代表

ダイハツ
新型ムーヴ
特集号

MOVE CUSTOM

カスタムに“ハイパー”グレード設定!!



MOVE

ムーヴXターボ “SA”



NA車は **31.0 km/ℓ**
全車エコカー減税の免税

文/渡辺陽一郎(カーライフジャーナリスト) 写真/奥陣圭之

大好評のスマートアシストがさらに進化 クルマの後方にある障害物を ソナーセンサーが検知し、誤発進を抑制

スマートアシスト もしもの事故を防ぐ先進技術

従来から衝突を回避する支援機能として「スマートアシスト」を採用してきたが、新型ムーヴではこれが進化した。注目されるのは、後方への誤発進を抑制する機能を加えたこと。後方に向けて音波センサーを作動させている。例えば後方に壁などがある状態でシフトレバーを「R」レンジに入れ、アクセルペダルを踏み込むと、ブザーとディスプレイの表示でドライバーに警告を発する。同時にエンジンの出力を約8秒間絞り、誤操作による事故を防ぐ仕組みだ。従来と同様、赤外線レーザーによる衝突回避の支援機能も備える。時速4~30kmで走行中、先行車などに衝突不可避の状態になると、自動的に緊急ブレーキを作動させる。このほかメーカーオプションのバックカメラ機能も進歩して、車両の後方を真上から見下ろすように見せるトップダウンビュー、ワイドビューを切り替えられるようになった。ハンドルの舵角に応じて、車両の進む方向を示す線も入る。



●助手席シートリフト シート座面角度をさらに下げたことで、乗り降りがよりラクになりました



幅広いニーズに応えるカスタムとターボ車も新設定 介助がしやすく、価格もやさしい “思いやりの”一台



■フレンドシップ

新型ムーヴは、福祉車両のフレンドシリーズとしても用意されている。設定されているのはフロントシートリフト車で、助手席が左方向に回転して、外側にせり出す。体の不自由なユーザーが、車両の左外側で乗り降りして、車内にスムーズに入れるように工夫されている。シートの回転は電動式とあって使いやすい。折り畳み式のフットレスト、アームレストなどが装着されて、乗降時の姿勢も安定させやすい。ムーヴはドアの開閉口が広いので、フロントシートリフト車にピッタリだ。そしてフロントシートリフト車は、標準ボディのほかにカスタムでも選択できる。ベースになるグレードが多彩なことにも注目したい。

●車いす固縛ベルト(固定時)



昇降時間も大幅に短縮しました

ムーヴ 主要諸元表	2WD				4WD		
	Xターボ	X	L	Xターボ	X	L	
グレード	"SA"	"SA"	"SA"	"SA"	"SA"	"SA"	
全長×全幅×全高(mm)	3,395×1,475×1,630						
室内(長×幅×高mm)	2,080×1,320×1,280						
ホイールベース(mm)	2,455						
トレッド(前 mm)	1,305						
(後 mm)	1,295			1,265			
最低地上高(mm)	150						
車両重量(kg)	830	820		890	880		
乗車定員(名)	4						
JCO8モード燃費(km/ℓ)	27.4	31.0		25.6	27.6		
最小回転半径(m)	4.4						
エンジン型式	K F型						
種類	水冷直列3気筒 12バルブDOHC インタークーラーターボ機構	水冷直列3気筒 12バルブDOHC機構		水冷直列3気筒 12バルブDOHC インタークーラーターボ機構	水冷直列3気筒 12バルブDOHC機構		
総排気量(cc)	658						
最高出力(kW<PS>/rpm)	47<64>/6,400	38<52>/6,800		47<64>/6,400	38<52>/6,800		
最大トルク(N・m<kg-m>/rpm)	92<9.4>/3,200	60<6.1>/5,200		92<9.4>/3,200	60<6.1>/5,200		
使用燃料およびタンク容量(ℓ)	無鉛レギュラーガソリン・30						
トランスミッション	C V T			フルタイム4WD (4輪駆動)			
駆動方式	F F (前2輪駆動)			フルタイム4WD (4輪駆動)			
ステアリング形式	ラック&ピニオン						
ブレーキ形式 前/後	ベンチレーテッドディスク/リニアードブレーキ						
サスペンション 前	マクファーソン・ストラット式コイルスプリング						
サスペンション 後	トーションビーム式コイルスプリング			3リンク式コイルスプリング			
タイヤ	155/65R14 75S			155/65R14 75S			

ムーヴ カスタム 主要諸元表	2WD			4WD		
	RS	X	"SA"	RS	X	"SA"
グレード	"SA"	"SA"	"SA"	"SA"	"SA"	"SA"
全長×全幅×全高(mm)	3,395×1,475×1,630					
室内(長×幅×高mm)	2,080×1,320×1,280					
ホイールベース(mm)	2,455					
トレッド(前 mm)	1,305					
(後 mm)	1,295			1,265		
最低地上高(mm)	150					
車両重量(kg)	850	830		900	890	
乗車定員(名)	4					
JCO8モード燃費(km/ℓ)	27.4	31.0		25.6	27.6	
最小回転半径(m)	4.4					
エンジン型式	K F型					
種類	水冷直列3気筒 12バルブDOHC インタークーラーターボ機構	水冷直列3気筒 12バルブDOHC機構		水冷直列3気筒 12バルブDOHC インタークーラーターボ機構	水冷直列3気筒 12バルブDOHC機構	
総排気量(cc)	658					
最高出力(kW<PS>/rpm)	47<64>/6,400	38<52>/6,800		47<64>/6,400	38<52>/6,800	
最大トルク(N・m<kg-m>/rpm)	92<9.4>/3,200	60<6.1>/5,200		92<9.4>/3,200	60<6.1>/5,200	
使用燃料およびタンク容量(ℓ)	無鉛レギュラーガソリン・30					
トランスミッション	C V T			フルタイム4WD (4輪駆動)		
駆動方式	F F (前2輪駆動)			フルタイム4WD (4輪駆動)		
ステアリング形式	ラック&ピニオン					
ブレーキ形式 前/後	ベンチレーテッドディスク/リニアードブレーキ					
サスペンション 前	マクファーソン・ストラット式コイルスプリング					
サスペンション 後	トーションビーム式コイルスプリング			3リンク式コイルスプリング		
タイヤ	165/55R15 75V	155/65R14 75S		165/55R15 75V	155/65R14 75S	

詳しくは販売店にお問い合わせください。



MOVE

数々の先進装備を採用

日常のあらゆるシーンでドライバーをサポート

■JC08モード燃費は31.0km/ℓの低燃費を実現

今日の軽自動車では、燃費性能が急速に向上している。この傾向を加速させ、ムーヴはさらに環境性能を高めた。標準ボディ、カスタムともに、NAエンジンのJC08モード燃費は2WDで31.0km/ℓ。ターボは27.4km/ℓになる。ちなみに先代型に比べると、NAエンジンは2.0km/ℓ、ターボは2.2km/ℓ向上した。いずれも全高が1600mmを超える背の高い軽自動車では優れた部類に入り、特にターボの27.4km/ℓは、軽自動車のターボ車でではナンバーワンになる。優れた燃費性能を達成できた背景には、エンジンやCVT（無段変速機）に綿密なチューニングを施し、空気抵抗を先代型に比べて約10%低減させた効果もある。新型ムーヴでは、標準ボディを含めて全車にフロントアンダースポイラー、リアゲート上部のスポイラーを装着。空気の流れを最適にコントロールしている。ちなみに標準ボディは、リアゲートのスポイラーを装着したこと（後ろ姿もカッコ良くなった。ドレスアップの効果も見逃せない。

■パッケージとエアロワイパーブレードなど

新型ムーヴでは、従来以上に装備や機能を充実させた。外観では、軽自動車初のエアロワイパーブレードに注目したい。高速走行時でもワイパーが浮き上がりにくく、正確に作動してクリアな視界を確保する。空気抵抗も軽減させたから、燃料消費量を抑える効果もある。リアゲートは従来の横開きを一般的な縦開きに変更した。操作性が馴染みやすく、ミニバンなどから代替したユーザーも使いやすい。雨天時に荷物を出し入れする時は、持ち上げたリアゲートがヒサシになって雨を避けられる。ポケット類も充実。助手席の前側やインパネの下側には、ボックスやトレイを装着。カップホルダーも豊富に備わり、助手席側は引き出し式だ。荷室の床下には容量の大きなアンダーボックスがあり、ボードを跳ね上げて固定すると背の高い荷物も積める。以上のように、子育て世代のファミリーを含めて、幅広いユーザーが使えるように実用性を高めた。

■コンフォート・TFTカラーマルチインフォメーションなど

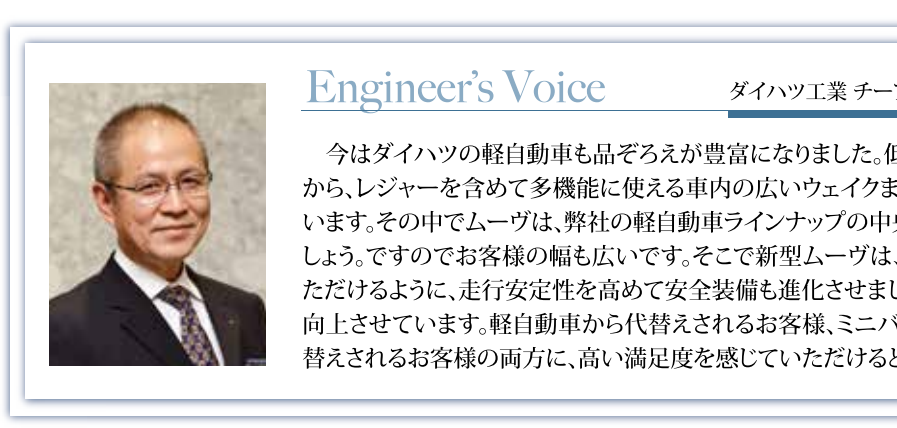
使い勝手を向上させる機能として、新型ムーヴは数々の先進装備を採用した。軽自動車では初採用となるのは、ムーヴカスタムの全車に標準装着されるTFTカラーマルチインフォメーションディスプレイだ。スピードメーターとタコメーターの中央に装着された縦長のディスプレイで、平均燃費、ドアが開いている時の警告、さらにタイヤの向きなどを表示する。この画面がカラーになり、視認性を高めた。表示の切り替えはハンドルのスイッチで簡単に行える。カーナビはボイスコントロールタイプをメーカーオプションとして設定。スマートフォンのように、感覚的に操作できる。音声対話機能も採用したから、使い勝手がさらに高まった。このほかターンランプ（方向指示機）は電子式に変更。スイッチを軽く触れるだけで3回点滅するから、車線を少し変える時などに使いやすい。スーパーUV&IRカットガラス、スーパーグリーンエアフィルターといった快適性を高める装備も豊富だ。運転席のシートヒーターや後席のヒーターなどをセットにしたウォームハックなどが用意され、寒冷地のユーザーにも優しい。



軽初TFTカラーマルチインフォメーションディスプレイ（エコアシストドライブ照明）



ボイスコントロールナビゲーションシステム



大容量深層ラゲージアンダーボックス（デッキボード固定フック付）



走行燃費 **31.0km/ℓ** (2WD NA)



フロントアンダースポイラー フロア下に入り込む空気を抑制

エアロワイパーブレード ワイパーへの風当たりを低減

空力ドアミラー ドアミラー付近の流れをスムーズ化

長時間の運転でも疲れにくいドライビングポジション！



運転する人の体格に合わせて、ドライビングポジションをきめ細かく調整できます。

アクセル・ブレーキ両ペダルを同時に踏まないように考慮したペダルレイアウトの最適化！

お客様の声を徹底して聞き込みさらに快適性が向上しました！

パワーとエコの両立で頼もしくて経済的！

MOVE

デザインテーマ: SMART SPACE [質・実・剛]

毎日出かけたくなる安心感！



L'SA*



リヤシート分割ロングスライド

D'sテクノロジー

フォースコントロール

快適かつ安心できるドライビングを追求



D monocoque (軽量高剛性ボディ) サイドアウトパネルの全面厚板ハイテン化

D suspension サスペンションの特性見直しや剛性アップなど、運転時のストレスを軽減する安心のチューニング

D assist 切替ステアリングスイッチ パワーモードで余裕のある軽快な走り

■Force Control(軽量高剛性ボディ骨格構造、最適改良を施した足回り、ステアリングスイッチでのパワーモード)を採用

高剛性と軽量化を両立させたボディを「Dモノコック」と呼ぶ。エンジンやサスペンション、室内空間などはすべてボディに取り付けられるから、その強度を高めれば、走りから乗り心地まで数多くの機能が上がる。地震に強い耐震構造の家屋のような設計をボディに施した。この「Dモノコック」をベースに、足まわりには「Dサスペンション」を採用。サスペンションの取り付け剛性を高め、スプリングやショックアブソーバー、ブッシュといったパーツも入念にチューニングされている。ボディの傾き方を制御するスタビライザーは、軽自動車でありながら、先代型と同じく前後輪に装着した（後輪側は2WDのみ）。このほかブレーキの操作感覚もチューニングされ、上質な走りを楽しめるように熟成されている。さらに軽自動車初の装備として、「Dアシスト」による「パワーモード」も設定。ステアリングに装着されたスイッチでパワーモードに切り替えると、アクセル操作に対するエンジンの反応が鋭くなる。高回転域を有効に活用できるため、発進時や登坂路でも、動力性能をフル活用できて効果的だ。スポーティな走りも満喫できる。

■上質感・高級感を極めた新"ハイパー"グレード登場

バリエーション構成は、従来型と同じく標準ボディとカスタムに大別される。この内、カスタムには「ハイパー」と呼ばれる新しいグレードを設けた。ムーヴの最上級シリーズになる。ハイパーの一番の特徴は、LEDイルミネーションを装着したダーククロームメッキのグリルだ。カスタムの場合、LEDヘッドランプの周囲を囲むように装着されたLEDクリアランスランプは、全車に標準装着される。カスタムのハイパーになると、グリルがダーククロームメッキに変わり、その下側にも横長のLEDイルミネーションランプが備わる。さらにフォグランプの脇にも、LEDイルミネーションを装着した。アルミホイールもハイパー専用デザインされている。そして内装には、ハイパー専用の本革 & ファブリックシートを採用。内装の装飾もギャラクシーマープルになり、スポーティ感覚と質感を向上させている。



高級感あふれる専用インテリア



ダーククロームメッキフロントグリル (LEDイルミネーション付)

フロントLEDイルミネーションランプ

ハイパー専用15インチアルミホイール

リアコンビネーションランプ (ダークメッキアクセント)

■デザイン

軽自動車の全長は3395mm、全幅は1475mmで実質的に共通化されているが、新型ムーヴは室内を狭めることなく、外観の存在感を強めた。前後のフェンダーにはボリューム感を持たせ、4輪がしっかりと踏ん張った造形にしている。その上で標準ボディは、大型のヘッドランプと、緻密に造り込まれたフロントグリル、ラウンドしたバンパー形状などにより、上質な印象に仕上げた。ボディサイドは視界の優れた水平基調としながら、シャープな造形にして質感を高めている。一方、カスタムは、エアロバンパーやサイドストンガードを装着。標準装着されるヘッドランプは切れ長のデザインで、フロントマスクは精悍なイメージだ。ボディサイドは、スポーティなデザインのアルミホイールが引き締めている。内装も上質に造り込んだ。メーターパネルは大型で視認性が良く、インパネの下側に装着されたシフトレバーとエアコンスイッチの操作がしやすい。背の高いボディなので、軽自動車でも居住空間はかなり広い。特に後席は頭上と足元の空間がゆったりしている。背もたれを前に倒すと座面も運動しやすくなり、フラットな荷室に変更できる。さらに新型では、後席のサイドが左右分割式になり、アレンジの機能を高めた。軽自動車でも、ファミリーカーとしてさまざまな用途に使える。



Xターower インパネ



ハイパー専用の内外装装備で一層の高級感と存在感！



カスタムX"Hyper SA"

デザインテーマ: FULL CUSTOM [全身・全心・全新]



カスタムRS"SA"

Engineer's Voice

ダイハツ工業 チーフエンジニア 須藤秀彦 さん

今はダイハツの軽自動車も品ぞろえが豊富になりました。低燃費で価格の安いマイルイスから、レジャーを含めて多機能に使える車内の広いウェイクまで、いろいろなニーズに応えています。その中でムーヴは、弊社の軽自動車ラインナップの中央に存在する「本流」といえるでしょう。ですのでお客様の幅も広いです。そこで新型ムーヴは、従来以上に安心して使ってもらえるように、走行安定性を高めて安全装備も進化させました。乗り心地、内外装の質感も向上させています。軽自動車から代替えられるお客様、ミニバンなどの小型 & 普通車から代替えられるお客様の両方に、高い満足度を感じていただけたらと思います。